１．件　名：日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげんの緊急時対策支援システムへの伝送の検討について

２．日　時：令和2年1月21日　10:02～11:00

３．場　所：原子力規制庁3階　ERC

４．出席者

原子力規制庁

　緊急事案対策室　児玉企画調整官、宮地防災専門官、岡村係長

　情報システム室　中台専門職、守屋専門職

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構　敦賀廃止措置実証部門

　新型転換炉原型炉ふげん　廃止措置部　設備保全課長　他5名

５．要　旨

　日本原子力研究開発機構から、新型転換炉原型炉ふげんから緊急時対策支援システム（ERSS）への伝送にあたり、前回の面談（令和元年10月17日）を踏まえ、資料に基づき再度説明があった。

　原子力規制庁より、ふげん内のシステムの２重化の考え方について確認した。

　今後、日本原子力研究開発機構と原子力規制庁で、ERSSの改修時期等について引き続き調整することとした。

６．その他

配布資料：あり